

# データストレージエキスポ 2004 報告



# データストレージエキスポ2004

- 2004年7月7日～7月9日
- 東京ビッグサイト 東1ホール
- 来場者数(3日間合計):
  - 5展示会総合計:約 6 万7千人
  - データストレージエキスポ:約1万2千人

# JDSF ファイバチャネル技術部会ブース 展示参加企業

- アジレント・テクノロジー(株)
- 伊藤忠テクノサイエンス(株)
- イメーション(株)
- コンピュータ・アソシエイツ(株)
- スペクトラロジック(株)
- 住友スリーエム(株)
- 東京エレクトロン(株)
- (株)東陽テクニカ
- 日本ストレージ・テクノロジー(株)
- 日本ソルテック(株)
- (株)ティアックシステムクリエイト
- (株)ネットマークス
- (株)日立製作所
- メモレックス・テレックス(株)
- 富士写真フイルム(株)
- (株)ユニテックス

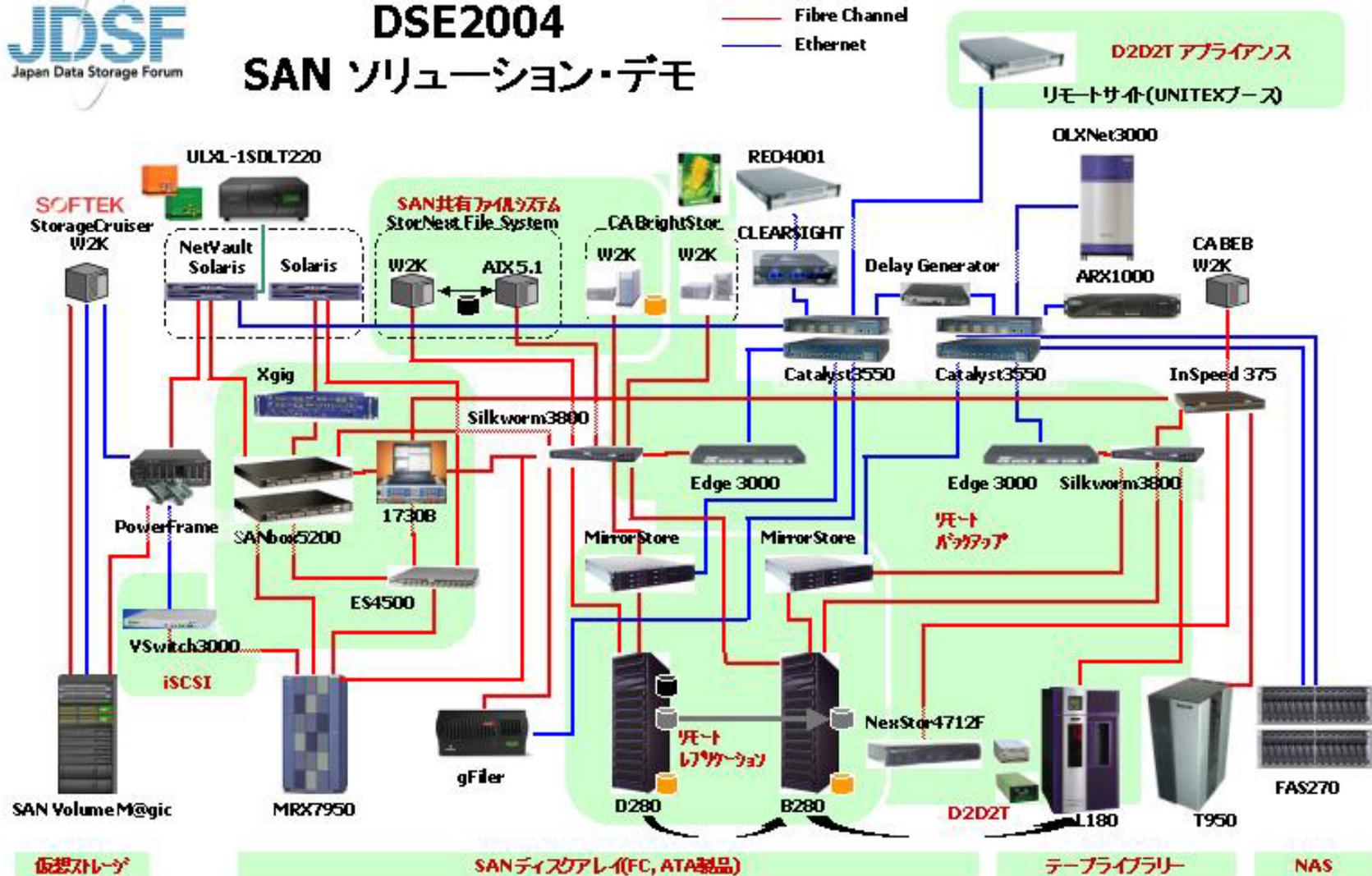
**協賛: (株)博展**

# デモ構成図



## DSE2004 SAN ソリューション・デモ

— Fibre Channel  
— Ethernet



仮想ストレージ

SANディスクアレイ(FC, ATA製品)

テープライブラリ

NAS

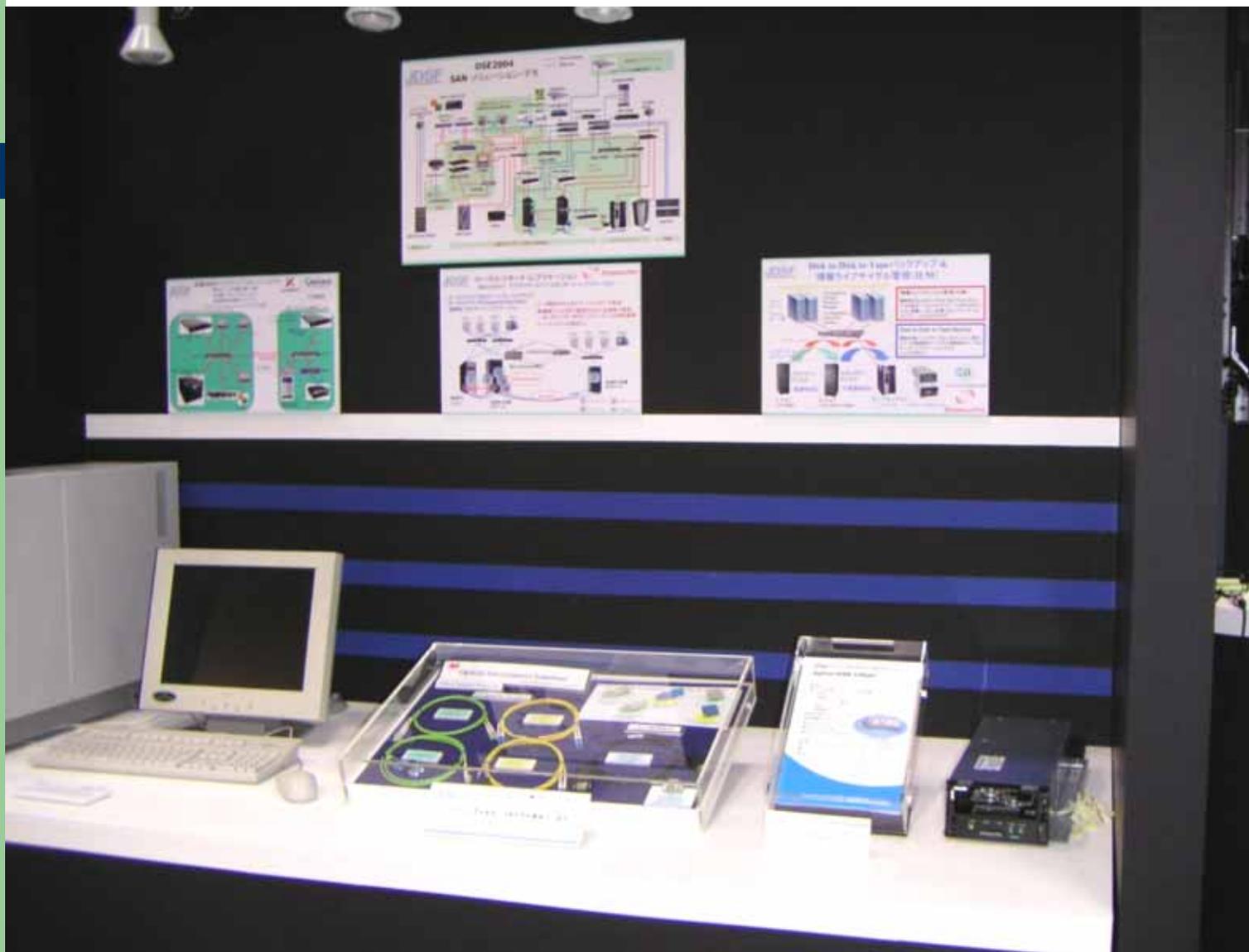
# ブース全体像



# ブース風景1



# ブース風景2



# ブース風景3



# ブース風景4



# ブース風景5



# 反省点

- ブースが狭かった
  - 後ろの展示スペースは人が入らなかった
  - プレゼンテーションの場所が良くなかった
  - ごちゃごちゃした感じだった
- パネル・キャプションが小さかった
- 当日、お客様とJDSF担当者の区別がつかなかった
- アンケートは取ったほうが良かった
- テーマが良くわからなかった
  - 何をさせようとしているのかが良くわからない
  - やっていることはすごいが、それをアピールできていない
  - うまくお客様に説明できない
- 情報の伝達・管理がうまくできなかった
  - 責任者のみに情報があって、責任者がいないと作業が進まなかった
  - 他社の機器について聞かれても説明できなかった

## 良かった点

- それなりに製品をアピールできた
- 前日短時間に構築できたことは良かった
- 普段できない接続確認ができた
- 競合他社と同じブースに出展した
  - あまりよくないという意見もあり

# 改善方向

- 準備期間を長く持つ
- 出展・デモのテーマを明確にする
  - 出展・デモで、何を見せるのかも明確にする
  - 出展することの各会社へのメリット・意義を明確にする
- デモ・アピール方法の改善
  - ソフトウェアをどのように見せていくのか
  - 造作、パネル、キャプション、プレゼンテーションのあり方について検討

# JDSFの出展について

- 過去の流れでデータストレージエキスポに出展しているが、再検討する時期にきていると思われます。
  - JDSF はデータ・ストレージに関わる色々な会社が集まっている団体であるので、データストレージエキスポだけではアピールする場所として十分ではない
  - 出展の形態も色々考えられる
    - カタログ出展、ミニ・ 세미나 + デモ、 接続性確認デモ
  - 出展の回数も1回でなくても良い